

JPCOAR スキーマ、今ここに始動せり。

JPCOARスキーマとは、
junii2にかわる新たな
メタデータスキーマである。

JPCOARスキーマを利用するしない、その理由とは。

オープンサイエンス対応！

より詳しく、より正確に！

世界につながる！ IRDBもJPCOARスキーマ！

過度な記は無用です！

JPCOARスキーマを詳しく知りたい！

お問い合わせはこちらまで。

JPCOAR

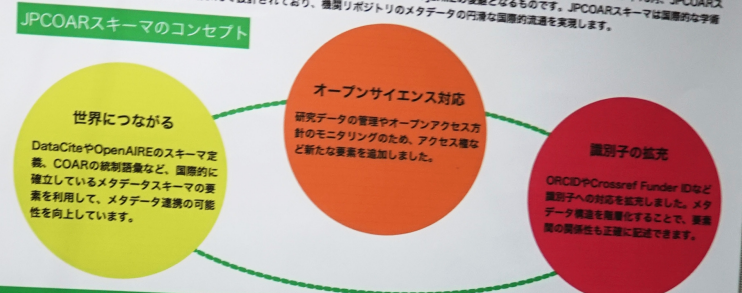
オープンアクセスリポジトリ推進協会

https://jpcoar.repo.nii.ac.jp

JPCOARスキーマ

機関リポジトリのメタデータを世界へ届ける

オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) はオープンサイエンスを含む学術情報流通の高度化を重点目標として掲げる組織です。国内の大学や研究機関を中心に590を超える機関が加盟しています。その活動の一環として、メタデータ普及タスクフォースを中心に、2017年10月、JPCOARスキーマを策定しました。現在の機関リポジトリで利用されているメタデータスキーマjunii2の発展となるものです。JPCOARスキーマは国際的な学術情報流通の動向junii2の諸課題を踏まえて設計されており、機関リポジトリのメタデータの円滑な国際的流通を実現します。



JPCOARスキーマのポイント

JPCOARスキーマのXMLスキーマ例:

```
<jpcoar:creator>
  <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="http://orcid.org/0000-0001-0001-0001">0000-0001-0001-0001</jpcoar:nameIdentifier>
  <jpcoar:creatorName xmlns:lang="ja">氏名, 東大</jpcoar:creatorName>
  <jpcoar:creatorName xmlns:lang="en">Tarado, Tarado</jpcoar:creatorName>
  <jpcoar:affiliation>
    <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="http://orcid.org/0000-0001-0001-0001">0000000121891048</jpcoar:nameIdentifier>
    <jpcoar:affiliationName xmlns:lang="ja">東京大学</jpcoar:affiliationName>
  </jpcoar:affiliation>
  <jpcoar:creator>
    <jpcoar:contributor type="Project" contributorName="Project" contributorNameURI="http://www.jstn.or.jp/0000000121891048"></jpcoar:contributor>
  </jpcoar:creator>
  <jpcoar:contributor>
    <detache:temporal xmlns:lang="en">1970-01-01</detache:temporal>
    <detache:geoLocation>
      <detache:geoLocationBox>
        <detache:westBoundLongitude>140.487500</detache:westBoundLongitude>
        <detache:eastBoundLongitude>109.618333</detache:eastBoundLongitude>
        <detache:southBoundLatitude>60.255000</detache:southBoundLatitude>
        <detache:northBoundLatitude>75.989167</detache:northBoundLatitude>
      </detache:geoLocationBox>
    </detache:geoLocation>
    <detache:resource>
      <detache:resourceType>http://url.org/COAR/resource_type/cod</detache:resourceType>
      <detache:resource>http://url.org/COAR/access_right/cod</detache:resource>
      <detache:resourceAccess></detache:resourceAccess>
    </detache:resource>
  </jpcoar:contributor>
</jpcoar:contributor>
```

ORCID・ISNIなど主要な識別子に対応

contributorの属性で、成果に対する貢献を明確に
contributorTypeはDataCiteの語彙に準拠

メタデータ構造の階層化により、要素間の関係性を明確に。(3階層)

空間情報をDataCiteに準拠した形式で記述

COARの統制語彙を利用。修士・博士論文の区別も明確に。研究データにも対応

アクセス権の状態を4つの統制語彙から選択: open access・embargoed access・metadata only access・restricted access

日本の研究成果を世界へ



JPCOARメタデータ普及タスクフォースの取り組み

国際連携
世界的なオープンアクセスのコミュニティであるオープンアクセスリポジトリ連合 (COAR) の年次総会や統制語彙の編纂委員会に参加して、継続的な情報交換を行っています。国際会議でJPCOARスキーマの発表も行っています。2017年はCOAR総会、Open Repositories, IPRES, Asia Data Weekで、2018年はCOAR総会、ETDで報告しました。ETDではBest Poster Awardを受賞しています。各種発表資料や参加報告はJPCOAR Webサイトで公開しています。

普及活動
JPCOARスキーマの普及や実践を促進するため解説記事の執筆や説明会を開催しています。2018年は東京と神戸の2会場で開催し、約200名の参加をいただきました。説明会では、スキーマの弊害や九州大学での実践例、IRDBやJAIRD Cloudなど関連システムの開発状況や共有しました。そのほかJPCOARスキーマに関するDOI管理・メタデータ入力ガイドラインの改訂作業など各種ドキュメントの整備も行っています。

メンテナンス
国際的な学術情報のメタデータスキーマ動向を踏まえて、JPCOARスキーマのメンテナンスを継続的に進めています。2018年8月には主要なメタデータ連携先の一つであるOpenAIREのメタデータスキーマ改訂に伴う出版タイプの変更や軽微な修正を行いver.1.0.1としてリリースしています。改訂版の詳細はJPCOARスキーマガイドラインWebサイトおよびGitHubで公開しています。

Best Poster Award
最佳海报獎

オープンアクセスリポジトリ推進協会
https://jpcoar.repo.nii.ac.jp

JPCOAR
オープンアクセスリポジトリ推進協会

JPCOARスキーマガイドライン
https://schema.irdb.nii.ac.jp

JPCOARスキーマに関するお問い合わせ先

JPCOARスキーマ推進委員会

お問い合わせ先
〒108-8501 東京都港区赤坂5-1-7
国立国会図書館
〒108-8501 東京都港区赤坂5-1-7
国立国会図書館